

NMC 会員の皆さま

令和7年(2025年)4月例会のご案内(先行PR)

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

4月は下記の通り、外部講師、野口田鶴子氏による例会、『宮沢賢治の世界』短歌、詩、ものがたりを楽しむを開催いたしますので、ご案内します。皆様のご来場をお待ちしております。

理事長 小川啓介

—記—

講演テーマ ;『宮沢賢治の世界』短歌、詩、ものがたりを楽しむ

オペラ歌手から朗読の世界に転身し、郷土の大先輩、宮沢賢治作品の盛岡弁での朗読をライフワークにしている野口氏の世界を楽しみましょう。演者のトークを混じえながら進めます。

短歌:「ちゃんがちゃがうまこ」八首（方言の説明をして、鈴と共に。）

詩 :「永訣の朝」を含む詩数編（主に春と修羅の中から。）

ものがたり:「よだかの星」

なお、時間があれば、皆さんに「雨ニモマケズ」の音読をして頂きたいとの演者の希望です。

講師 ;野口田鶴子氏

開催日時 ;2025年4月23日(水曜日) 13時～15時45分（公演時間 13時30分～15時15分）

開催会場 ;阿佐谷地域区民センター 第4集会室(定員30名)

住所 東京都杉並区阿佐ヶ谷北 1-1-1

JR 阿佐ヶ谷駅北口より高円寺方向に徒歩7分

電話 03(5356)9501

参加費 ;会員 無料 非会員 500円

講師 野口田鶴子(のぐち たづこ)氏のプロフィール

岩手県盛岡市生まれ。国立音楽大学声楽科卒、研究科終了後、オペラ研鑽の為イタリアに5年間留学。そこでイタリア北部の古詩の朗読に出会い、その方言で語られる朗読の抑揚の美しさに魅せられる。帰国後、発声障害を発症したため、朗読の世界に転身し、故郷の先輩である、宮沢賢治作品の朗読へと活動を移す。

2002年より、広尾東江寺にて、「宮沢賢治の世界・レクチャー&朗読」を公演。(新型コロナ流行のため、2019年30回をもって終了。) また、2002年より始めた、横浜反町ギャラリー&カオルにて、「宮沢賢治の世界・野口田鶴子ひとり語り」は現在も継続し、定期公演中。(通算256回)

また、2011年からは、賢治作品の朗読と共に、東日本大震災の記録を語り伝え、「いわての学び希望基金」の募金活動に力をいれる。東日本大震災チャリティー公演として2012年には鎌倉文学館で、「陸前高田からの手紙(戸羽京子聞き書き)」を、2015年には鎌倉の円覚寺帰源院臥龍庵で、照井翠句集『龍宮』より自選50句を賢治作品とともに上演した。

2016年第26回イーハトーブ賞奨励賞受賞。現在も「賢治作品朗読」、「東日本大震災をかたりつぐ」などで、関東地方、東北地方にて活動中。

令和7年(2025年)2月22日 幹事(細越監事)

以上